



# 物質工学科

Materials Science and Engineering

科学技術のなかで今後最も発展するものとして、新素材、バイオテクノロジーなどが挙げられますが、それらをつくり出す基礎となっているのは化学技術です。現在人類が直面している環境問題、エネルギー資源問題、食料問題の解決に欠かせない、この化学技術を学んでいくのが、この物質工学科です。

## スタート 入学

1 年生



高専生活スタートです。1年生では、一般科目とともに、物質工学の基礎を学び、各自の目標を明らかにしていきます。

2 年生



2年生からは学科別クラスに。4年間、同じ顔ぶれで学校生活を共にします。白衣に身を包み、専門の実験も始まり、気分はすっかり化学者に！

### 専攻科

本科を卒業した学生が、化学やバイオ技術、環境技術に関することを学び、さらに高度な知識と技術を備えた創造的技術者を目指します。

5 年生



高専生活ラストの年。各研究室に分かれ、卒業研究が始まります。リーダーとして後輩を引っ張っていく立場になり、卒研発表等、人前に立つことも増え、頼れる存在へ。

C

## ゴール卒業（就職・進学）

主な就職先 ●花王・RICOH・資生堂・ユニチカ・A&T・DIC・明治など

主な進学先 ●岡山大学・東京農工大学・豊橋科技大学・群馬大学・高知高専専攻科など

物質工学科の女子の人数（平成25年度）

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生
17/42人	16/43人	14/43人	20/43人	19/50人

4 年生



4年生からは、材料科学コース（医薬品、セラミックスなどの有用な材料を開発する分野）、生物・生産工学コース（バイオテクノロジーを用いて生物が生産する物質を工業的に作り出す分野）に分かれ、専門的な研究に励みます。

3 年生



高専生活の中間地点。3年生研修では、四国内の工場や研究所を見学に行きます。3年生からは物理化学・分析化学・有機化学など、専門科目が一段と増え、実験の内容もレベルアップ！



# 環境都市 デザイン工学科

Environmental Civil Engineering  
and Architecture

環境都市デザイン工学科では単に構造物を作るだけではなく環境との共存が求められています。自然との調和をはかり、土木・建築共通の専門基礎知識を幅広く学んだ上で、実践的かつ想像力豊かな建設技術者を目指します。橋・道路・川・ダムなど社会基盤整備を中心とした「土木」と、住宅・ビルなど空間をデザインする「建築」を総合的に学ぶことのできる土木・建築総合学科です。

## スタート 入学

1 年生



1年生から製図が始まります。4学科の学生の混合学級なので他学科の人たちとも仲良く、友達になれます。



5 年生



コンクリート内部の劣化状態を超音波を用いて検査する機械です。卒業研究ではこれまでの知識を活かして研究をしています。

Z

### 専攻科

環境・防災・情報も含んだ専門的な科目を学び、創造力あふれる総合建設技術者や、開発研究型の人材を目標にしています。

2 年生



基本となる製図の知識をしっかり学びます！

## ゴール卒業（就職・進学）

主な就職先 ●公務員（国交省・高知県庁・高知市役所ほか）・大林組・四国電力・大阪ガス・東燃ゼネラル石油など

主な進学先 ●豊橋技術科学大学・大阪大学・京都工芸繊維大学・高知工科大学・高知高専専攻科など

環境都市デザイン工学科の女子の人数（平成25年度）

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生
16/42人	16/42人	11/44人	8/28人	10/46人

4 年生



4年生になると、土木・建築の専門教科が選択になります。研修旅行では、土木を中心に道路やトンネル、浄水場などに行き、実際に現場を見ることで仕事をするというイメージを持つことができます。また、建築やデザインなどの分野では、女性の視点が活かせる！という自覚をもって、技術を磨いています。

3 年生



作業服を着て、実際に実験をします。これはコンクリートの供試体を作っているところです。友達と色々な実験ができて楽しいです。